

Sports Net

ちば 2026年2月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2026年2月15日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 280号

成田の歴史と国際交流を満喫！ 早春を満喫した5キロの例会



歴史の息吹と仲間との絆、充実の「成田山巡り」をレポート

新日本スポーツ連盟千葉県ウォーキング協議

会の例会として、歴史・文化・国際交流をテーマにした成田山ウォーキングが開催されました。

表参道で味わう「食」と「国際交流」

コースはJR成田駅東口を起点とし、成田山のシンボルである表参道を経由。参加者の脚力に合わせて、約5キロの道のりをおよそ2時間かけて巡る行程です。

賑わいを見せる表参道では、外国人観光客にも人気の「大判焼き」を片手に、土産物屋を眺めながらのゆっくりとしたウォーキングを楽しみました。

道中、オーストラリアから訪れていたカップルと親睦を深める一幕もあり、成田ならではの国際交流を肌で感じるひとときとなりました。

歌舞伎の源流と、知られざる旧跡を訪ねて

最初に訪れた薬師堂は、成田山で最古の建物。初代市川團十郎が子宝祈願に訪れたことに由来し、歌舞伎の屋号「成田屋！」のかけ声でも知られています。

続いて一行は、7代目市川團十郎が身を寄せたという延命庵や、徳川将軍家の剣術指南役を務めた小野派一刀流・小野忠明、忠常の墓標を見学。成田高校裏の草深い丘にひっそりと佇む墓標を前に、参加者たちは歴史の重みに思いを馳せ、静かに合掌しました。

梅香る成田山公園から、祈願の総本堂へ

広大な成田山公園では、早咲きの梅や蟬梅（ロウバイ）が春の訪れを告げる中、雄飛の滝や龍智池を巡りました。

最終目的地である新勝寺の大本堂では、今年最初の参拝（初詣）となる参加者も多く、今後のイベントの安全を全員で祈願。清々しい空気の中、心地よい疲れとともに散歩を締めくくりました。

交流の場はランチタイムへ —— 「1万歩」達成の歓喜

ウォーキング後の楽しみは、2025年5月にオープンしたばかりの店での昼食会です。

こじんまりとした温かい店内で、ビールの勢いも手伝い、参加者同士だけでなく先客とも思わぬ交流が生まれる賑やかな時間となりました。

「学びが多くて本当に楽しかった！」

「おかげさまで1万歩を達成できたわ！」

参加者からはこのような喜びの声が上がり、心身ともに充実した、例年以上に満足度の高い例会となりました。

（千葉県ウォーキング協議会事務局長

日野正生）

また一人、県連盟創立者が旅立たれました

~~徳田 稔さん(元新日本スポーツ連盟千葉県連盟理事長・享年80歳)~~



徳田さんは私（園川）が新スポ連に関わりあう事となった仲間のお一人でした。

初めての出会いはまだ20代の終わりころ？一見強面に見えますが、内に秘めたスポーツに掛ける情熱は熱い方でした。

その人となりについて機関紙「Sports Net ちば」に現在連載中の「人物探訪」（2023年12月号）に登場して頂いた際のご本人へのインタビューの中からいくつかご紹介いたします。

その1

初代理事長として連盟組織を立ち上げた際、財政基盤が弱く、家賃も払えないので何回も事務所を引っ越したことが今でも印象に残っています。



'87現事務所の事務所開き

役立てようとバスを仕立ててスキーツアーに取り組んだことが思いだされますね

⇒精力的な活動家だったんですね！



スキーツアーで餅を頬張る徳田さん

その2

小中と野

球少年として育った徳田さん。大きめの体を活かしポジションはキャッチャー。

社会人となってからもクラブチームで野球に打ち込んでいました

⇒野球好きは理事長時代も変わりませんでしたね！



卓球協の総会で挨拶

その3

スポーツ以外での趣味は旅行、「北海道！」なぜか「暑い南は苦手なんだ」とはにかみながら答える茶目っ気たっぷりの対応など

⇒一見強面ですがなかなかどうしてシャイなお顔もありました

ここ数年は透析治療で入退院を繰り返されていましたが、治療の甲斐なく残念ながら去る2月1日旅立たれました。



2015年空手大会で挨拶

改めて徳田さんの連盟へのご尽力に感謝申し上げますとともにご冥福をお祈りします。な

お、ご葬儀は家族葬で行われた旨喪主の奥様から伝言を頂いています。合掌

新スポ連千葉県連盟理事長 園川 峰紀

PS

ご家族の意向もあり毎年10月末に行われる「房総のいしずえ合同追悼会」に埋葬されるそうです。

寒波を吹き飛ばす白球の熱気！ 雪の千葉ポートアリーナで「冬季卓球大会」開催

東日本を襲った寒波により、前日から降り積もった雪が街を白く染めた2月8日。千葉ポートアリーナにおいて、千葉県卓球協会主催の「冬季卓球大会」が開催されました。



悪天候という逆境を撥ねのけ、会場は選手たちの情熱で熱く燃え上がりました。

雪による波乱の幕開け、運営の機転でカバー

今大会は、2ダブルス3シングルス形式の団体戦（1チーム4～5名構成）で行われました。当初は男女計105チーム・462名のエントリーがあり、会場キャパシティの都合で105チーム（男子60、女子45）に絞っての開催を予定していました。

しかし、当日は稀に見る降雪の影響により、公共交通機関の乱れなどで棄権が相次ぐ事態に。最終的には男子57、女子30チーム、計329名の精鋭が集結する形となりました。

こうした状況下、アリーナ側も柔軟に対応。通常は入場時間に厳しいところを、雪の中到着した役員や選手のために早めに開門し、温かく迎え入れてくれました。さらに運営側も、混乱を避けるため開始時間を1時間遅らせる判断を



下し、午前9時45分、竹村会長の力強い挨拶とともに大会の幕が上がりました。



暖房いらずの熱戦！女性選手の活躍も光る



相次ぐキャンセルに対し、事務局は即座にブロックの再編（女子BCブロックの

調整やC・Dブロックの統合など）を実施。滞りない運営により、試合が始まると会場は一変して活気に包まれました。その熱気は、「暖房を入れずとも汗ばむほど」。

多彩な顔ぶれ：男子チームに混じって活躍する女性選手の姿も見られました。

対照的な魅力：

ブロックごとに、和気あいあいとした交流戦から、1点を争う熾



烈な優勝争いまで、観客を飽きさせない見応えのあるラリーが続きました。

閉会式を迎える頃には、空には薄日が差し込み、雪景色も和らぎ始めました。選手一同、充実感を胸に無事帰路につきました。

ブロック優勝チーム一覧

男子		C-2	ほのか
A-1	あきた犬	C-3	八千代卓球
A-2	九流里	C-4	順慶クラブ
A-3	のべクラブ	女子	
AB	かぶとむし	A	杏仁クラブA
B-1	市原ひまわりA	AB	杏仁クラブB
B-2	ZOZO	B-1	ちーむM&M
B-3	チーム78	B-2	スマイル
BC	JUST A	BC	イルカ
C-1	JUST B	C	スカイ

常任理事会報告

年明けの1月15日（木）穴川コミュニティーセンターにおいて、53期第10回となる常任理事会を開催いたしました。

【活動経過】

○12/20～21 第25回全国テニス選手権大会（フクダ電子ヒルス）

○12/22 リレーマラソンキックオフ会議

○12/27 ウォーキング例会（餅つき）園川理事長、本田副理事長参加

○1/4 スリーダブルス卓球大会（YohaSアリーナ）299名参加

○テニス協議会大会（12/27、28、1/4）

【協議関係】

1 対市、対県要望書について

前回の常任理事会で検討した内容で要望書を提出したが、検討して回答する旨の回答は得たが、その後連絡が来ていない。

2 施設利用調整会議について

2月7日（土）千葉県施設利用調整会議

野球協議会、空手協議会、テニス協議会が参加予定（出席者選考済み）

2月14日（土）体育館（卓球・ミックスバレーボール協議会・空手協議会が出席）

2月21日（土）野球場（野球協議会が出席）

3 全国連盟評議員会について

施設利用調整会議と日程が重複しているため、日野常任理事が田久保副理事長の代理として出席（zoom）する。

特段の意見は無し

4 全国連盟総会代議員（2名）の選出について

本田副理事長、佐々木事務局長はJFA協議会の外部参加のため出席できない。他で選出する

5 次年度総会について

総会議案の担当者を決め、辞意を表明している役員の後任をどうするかについて協議しました。

6 SportsNetちば1月号2月号の掲載記事について検討しました

7 四街道総合公園リレーマラソンについて進捗状況の確認をしました。

【四街道からの連絡待ち変化無し】

スポーツアラルカルト

拡大するワールドカップと 広がるスポーツの楽しみ方

こんにちは。千葉県サッカー協議会の磯部です。
今回は、いよいよ開催の年を迎えた2026年北中米ワールドカップと、広がりを見せるスポーツの楽しみ方について考えてみたいと思います。

今年の6月、カナダ・メキシコ・アメリカの3カ国共同開催によるワールドカップが開幕します。

今大会からの最大の変化は、出場国が従来の32カ国から48カ国へと大幅に拡大される点です。これは単なる規模の拡大ではなく、これまで世界の舞台に立つことが難しかった国や地域にもチャンスが広がり、より多様な文化がサッカーを通じて交錯することを意味しています。

かつて私がミックスリーグ開催の折に触れた「ナショナリズム」や「多様性」というテーマが、よりポジティブな形でピッチ上に表現される大会になることを期待しています。

こうした「門戸の広がり」は、わたしたちの身

近なスポーツ現場ともリンクしています。

千葉県サッカー協議会で継続して取り組んでいる「ミックスリーグ」も、性別や年齢、経験の有無に関わらず、誰もがピッチに立てる環境づくりを目指してきました。

世界の頂点を決める戦いも、地域の週末の楽しみも、「参加する機会が増える」「多様な人が関わる」という方向性においては共通しています。

ワールドカップイヤーは、普段サッカーを見ない人々の関心も高まる特別な1年です。テレビの前で世界最高峰のプレーに熱狂するだけでなく、その熱を自分たちの健康づくりやコミュニティ作りに繋げていきたいものです。「観る」楽しみから「する」楽しみへ。この大会が、千葉県のスポーツシーンにおいても、新たな参加者が一步を踏み出すきっかけになることを願っています。

今年一年、世界と地域の両方で、スポーツの新しい景色が見られることを楽しみにしつつ、活動を続けてまいります。今後とも千葉県サッカー協議会をよろしく願いいたします！

県連盟理事・サッカー協議会 磯部 宙

稲葉 守俊さん

県連盟監事

今回紹介する方は県連盟・監事の稲葉守俊さん。インタビュー時に頂いた名刺には「柏市体操協会会長」と「千葉労連副議長」の肩書が！？但し、組合については元の肩書？はてさて体操と労働運動どんな話が飛び出すか！？生まれは「寅さん」の故郷・東京葛飾。正確には立石とか、風貌も何となく寅さんに似ているような？そんな雰囲気です。インタビューが始まりました。



現在のお住まいは千葉県流山。流山に来るまでは実家（金町その後松戸に移動）に住んでいましたが結婚を機に引っ越し現在に至るまで50数年

千葉県民として地域に根差した活動をされてきた由。

ところで「体操とはどんなきっかけで？」と問いますと「きっかけは小4の頃に赴任されてきた若くて格好いい体育の先生への憧れです。その後指導者にも恵まれ、中学・高校では部活に汗を流し、その流れで大学も日体大に進み、大学3年時に柏市の高校教師の席が空いているということから学生でありながら臨時教員の職を得て以来、体操指導者として現在に至っています。」



この間指導した教え子の中には五輪・日本代表コーチとなった方も。まさしく「体操一直線」

の人生そのもの。

一方、労働組合との関りは「小学生の頃、父親が労働組合を支援していた姿が印象に残っており、その後社会人となり勤務先の経営者の理不尽さに我慢できず労組立ち上げに関わったことからです。」なんともお父さんの反骨精神が遺伝子として引き継がれていたみたいですね。

新スポ連との関りもこの時期にありました。



新体連立上げに関わった人であればご存じと思いますが「学校体育研究

同志会」の一員でもあった稲葉さん。

同僚の故・秋本信孝さんを通じて関わりあったとの事。その他にも浅沼さん（前県連盟理事長）金子さん（前県連盟事務局長）等懐かしい名前も挙がっていました。

残念ながら新スポ連には体操種目がなく、県連盟役員としては現職の監事以外には関与されていませんが、今も日本のスポーツ界にはびこる「暴力」に対しては「暴力を容認する指導者自身は小さい時から暴力的な指導に慣れていたから無意識に振る舞うものと思います。私は体操指導者として暴力は振るったことは一度もありません。」ときっぱり！ここにも反骨精神が発揮されていました！

新スポ連の会員の皆さんへメッセージ「見るスポーツ全盛の昨今、体を動かす楽しみを自分の体を動かして楽しんでほしい。楽しくなければスポーツではありませんよ。」御年82才の万年青年・稲葉さんの一言、ありがたく頂きました。

(文責 園川)

SPORTS CALENDAR

2月

2月8日(日) 卓球冬季大会 (ポートアリーナ)
2月14日(土) テニス春季大会混合D 天台A・B
2月20日(金)～23日(月休) 千葉スキー祭典 志賀高原
2月21日(土) テニス春季大会女S・シニア370チーム対抗男子
天台A・B
2月23日(月休) テニスシニア350チーム対抗女子 天台A・B
2月24日(火) ウォーキング例会

2月 4日(水) 四役会議
2月 7日(土) 県施設利用調整会議
2月14日(土)21日(土) 市施設利用調整会議
2月19日(木) 常任理事会

3月

3月7日(土) テニス春季大会年層別男女 天台A/B
3月12日(木) 卓球3ダブルスお花大会 YohaSアリーナ
3月13日(金)～15日(日) スキー協4クラブ合同スキー
3月24日(火) ウォーキング協議会例会

3月14日(土)～15日(日) 全国連盟総会
3月11日(水) 四役会議
3月19日(木) 常任理事会

選挙の費用って一体いくら？

～～スポーツ予算の増額に回してほしい～～

悪名高い「統一協会」との深い繋がりを示す新事実が報道されたり、台湾問題での“中国との戦争も辞さない”発言を撤回しようとするかもしれない、更には裏金問題で明らかになった「政治と金」の問題には知らぬ顔の半兵衛を決め込み、内閣支持率が高いうちに、議席をかすめとるという魂胆が見え見えの大儀なき解散に打って出た高市早苗首相。

国民からすれば年度末を控え、物価高に苦しむ毎日、更には寒さが一番厳しいこの時期また選挙？特に北国では選挙や投票そのものができるかどうか？という怨嗟の声が日本中から聞こえるようです。

この「独り言」が発行される頃には結果も判明していると思いますが、考えてみるとこの1年半の間に3回も国政選挙が行われ、多額の費用が使われた事実から税納税者の一人として納得できません。

いったいいくら経費が掛かるのか？ネットで検索したところ、2024年の総選挙では約700億円、続く2025年参議院選挙では600億円、そして今回の総選挙では物価高騰の影響もあ

り、なんと850億円、3回の選挙費用はしめて2250億円也！！

一方、スポーツ庁の2026年度の予算額はなんと360億円。その差には唖然とするばかりです。

先日新スポ連がスポーツ庁へ要望書を提出しました。要望内容は①国民の「する」スポーツ振興を重視する事②公共スポーツ施設の新設・改修に伴う高額な使用料を利用者に転嫁しないように自治体の指導を図る事③各自治体の体育館にエアコンを完備するよう指示する事④登山に関して登山道等の整備などを進める推進役として活動してほしい等が挙げられていましたが、既述のとおり予算額では果たしてどこまで取り組んでもらえるのかはなはだ疑問です。

選挙に膨大な税金を使うよりも国民健康増進のためにスポーツ予算の増額をスポーツに関わるものとして声を大にして言いたい！！



理事長の独り言